

令和8年5月1日

各 高等学校長 様
// 高等学校数学科主任様

北海道算数数学教育会高等学校部会長 辻 伸也
(北海道札幌西陵高等学校長) [公印省略]

北海道算数数学教育会 高等学校部会
数学教育実践研究会 会員募集について

謹啓 新緑の候 貴職におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。また、日頃より当研究会に対し暖かいご支援を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、平成5年12月に発足致しました『北数教・数学教育実践研究会』は、これまでの32年間に136回の研究会を開催し研究を深めてまいりました。

あわせて、道内そして全国に数学教育の情報を発信するべく、平成9年度から立ち上げた公式Webページ「数学のいずみ」が平成15年度の「第4回インターネット活用教育実践コンクール」で文部科学大臣賞（学校教育部門）を受賞するなど、地道な活動が認められ今後の研究活動の励みになっているところです。

当研究会は、いまずぐ授業に使える「教材」「指導法」などといった日常の実践に結びつく数学の研究を重視しつつ、研究活動を続けて参りました。生徒の興味・関心を高め、意欲を持って数学に取り組む子供を一人でも多く育てていくために、是非、当研究会に参加下さいますようご案内申し上げます。つきましては、研究内容・研究活動は別紙のようになっておりますので、参考にして下さい。

本研究会に会員登録を希望される方は、お手数をおかけしますが

- ① 本案内、若しくはWebサイト「数学のいずみ」に掲載してあるURLから **Google フォームにアクセス**いただき、※接続先 URL : <https://forms.gle/CqwsFgATue8HVvKLA>
- ② 「氏名」「E-mail アドレス」「所属（勤務先）」の入力をお願いします。

※どうしてもGoogleフォームにアクセスできない場合は、メールでも受け付けます。

なお、**第137回数実研の参加申込みも同時に出来るようになっております。**

最後になりますが、5月中旬頃に北数教高等学校部会事務局校（札幌西高等学校）より依頼のある**北数教高等学校部会の会員登録**も忘れずに行っていただくようお願いいたします。

敬 具

《連絡先 数学教育実践研究会》

研究部長	向山 貴志	(北海道札幌東陵高等学校)	教頭)
代 表	長尾 良平	(北海道室蘭栄高等学校)	教諭)
副 代 表	山本 大輔	(札幌光星高等学校)	教諭)
事務局長	谷口 智哉	(北海道札幌南高等学校)	教諭)
事務局次長	信田 匡哉	(北海道札幌北陵高等学校)	教諭)

●公開Webページ『数学のいずみ』：<https://izumi-math.jp/>

●問合せ先 電話：011-521-2311（札幌南高）

E-mail : taniguchi.math.izumi@gmail.com（谷口）

令和8年5月1日

各 高等学校数学科主任様

北海道算数数学教育会高校部会長 辻 伸也
(北海道札幌札幌西陵高等学校長) [公印省略]

北数教 第137回数学教育実践研究会 開催について (ご案内)

新緑の候 貴職におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。日頃より北数教の研究活動に深いご理解とご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、下記要領にて「第137回数学教育実践研究会」を北海道大学理学部数学教室との共催で開催することとなりました。つきましては、公務多忙の折りとは存じますが、ご出席頂きますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和8年6月13日(土) 13:30~17:30
- 2 主催 北海道算数数学教育会高等学校部会研究部
北海道大学理学部数学教室
- 3 場所 北海道大学 理学部4号館4-501講義室(札幌市北区北10条大学構内)
※北大構内の駐車はできません。近隣の有料駐車場をご利用願います。
- 4 内容 【講演】「高校数学と大学数学をつなぐ視点—論理と微分方程式から—」
(講師)北海道大学大学院理学研究院数学部門 教授 眞崎 聡 様

本講演では、高校数学と大学数学の接続に焦点を当て、二つの話題を紹介する。前半では、大学数学で重要となる1階述語論理について扱う。高校数学においてもこの論理が登場しているものの、それらを前面に出さないまま議論を行おうとするため、自然言語や直感に依拠した形で扱われている。基本的な概念や高校数学の問題を具体的な題材として、その背後にある論理構造を明示することで理解の整理を試みる。



後半では、物理法則の記述に現れる常微分方程式について扱う。三角関数を微分方程式の解として捉え直すことから出発し、より一般の状況を考えて三角関数だけでは記述できない現象が現れることを見た上で、そのような問題を通じて現れるヤコビ楕円関数を紹介する。また、三角関数とその特別な場合として含まれることにも触れ、既知の対象をより広い枠組みの中で捉える見方を紹介する。時間が許せば、これらの話題と関連する講演者の最近の研究についても簡単に紹介したい。

研究協議 (レポート発表 (希望者のみ))

5 その他

- ・申込みは、6月1日(月)までにGoogleフォームから、「研究会」「レポート発表」「懇親会」参加希望の有無等を入力してください。発表希望者は6月5日(金)までに谷口までレポートのデータを送ってください。研究会終了後、懇親会(希望者のみ、会費4,000円程度)を行いますので、参加希望の有無についてもあわせてご連絡願います。

※申し込み URL: <https://forms.gle/CqwsFgATue8HVvkLA>

※Googleフォームにアクセスできない場合は、メールでも受け付けます。

事務局 札幌南高校 谷口智哉 E-mail: taniguchi.math.izumi@gmail.com

